

全国コントラクター等情報連絡会議研修会開催要領

1 趣 旨

良質な国産飼料の生産・利用を拡大する上で、コントラクターやTMRセンター（以下「コントラクター等」という。）は、飼料生産に係る外部支援組織として、畜産農家の自給飼料生産や飼料調製に係る負担の低減につながる重要な組織である。また、農地の集積利用、高性能機械の活用や専門技術者による作業を通じて、飼料生産作業の効率化等にも貢献している。

一方、コントラクター等においては、労働力不足への対応、年齢構成の上昇や技術の継承、機械施設の老朽化、生産資材の高騰、年間を通じた作業量の確保などの課題に直面している。

このため、本研修会では、オペレーター等の人材確保対策、コントラクター等の支援施策、高品質なTMRの生産・調製技術、ICTを活用した効率的なサイレージ生産技術、地域の畜産を支えるTMRセンターの事例を紹介し、全国のコントラクター等の経営技術の高度化に資する。

2 主 催 一般社団法人日本草地畜産種子協会

3 日時及び方法 令和5年2月10日（金）13:30～16:00 WEB方式による開催

4 内 容

(1) 開 会 13:30～13:35 (5分) 挨拶（協会）

(2) 基調講演 13:35～14:25 (50分) 農作業支援組織におけるオペレーター等の人材確保と育成 農研機構 北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域 スマート畑作グループ 上級研究員 藤田 直聡氏

（要旨）地域の飼料生産や飼料調製を支援するコントラクター等において課題となっている大型機械のオペレーター等の人材確保・育成対策とその解決事例を紹介する。

(3) 情勢報告 14:25～14:40 (15分) コントラクター等が活用できる支援策

農林水産省畜産局飼料課
課長補佐（飼料生産振興班担当） 齋藤 将司氏
（要旨）コントラクター等を対象とした飼料生産組織強化のための施策について紹介する。

【休 憩】 (5分)

(4) 情報提供 ① 良質サイレージ調製の基本技術およびバンカーサイロ補改修の効果について

14:45～15:10 (25分)

農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 飼料生産利用グループ
上級研究員 松尾 守展氏

(要旨) TMRの原料となるサイレージの高品質調製のための基本技術、およびバンカーサイロの床面補改修による効果について紹介する。

② ICTを活用した効率的なサイレージ生産

15:10～15:35 (25分)

エゾウイン株式会社 代表 大野 宏氏

(要旨) コントラクター等において、収穫作業等の進捗、バンカーサイロへの運搬回数や備車待機の状況、作業面積の集計等をGPSを活用して良質サイレージ生産の支援を行うリアルモニタリングシステムの使用事例について紹介する。

③ 地域の畜産を支えるTMRセンター

15:35～16:00 (25分)

株式会社アドバンス 代表取締役 永田 浩徳氏

(要旨) 高品質で安価なトウモロコシサイレージを利用したTMR生産と酪農家経営改善、地域連携による酪農および和牛生産業の振興を特徴としたTMRセンターの取組事例について紹介する。

(3) 閉会

16:00

5 参加料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン）は参加者にてご用意願います。

6 視聴方法：Zoomにて実施いたしますので、Zoomに接続できる環境をご準備ください。
※ 後日、マイナビ農業から参加予約者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

7 参加申込み方法

(1) マイナビ農業サイト (URL: https://agri.mynavi.jp/2022_12_16_212805/) からお申込ください。

申込期間：令和4年12月16日（金）から令和5年2月7日（火）

(2) 参加予定枠 150名程度

8 問い合わせ先

(1) 情報連絡会議の内容に関すること

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 草地畜産部

担当：東盛俊哉、武田哲夫、橋本凌

TEL：03-3251-6501

E-mail：toumori@souti-fsa.or.jp、takeda@souti-fsa.or.jp、

r-hashimoto131@souti-fsa.or.jp、

(2) 情報連絡会議への参加方法及びWebサポートに関すること

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部農業活性事業統括部営業部 東日本営業課

担当：宮川 (TEL 03-6267-4019、E-mail com-agri_seisaku-east@mynavi.jp)